

校長のつぶやき II

校長室便り 第23号

令和2年7月29日 山内

○総体代替大会 –ソフトテニス部の報告–



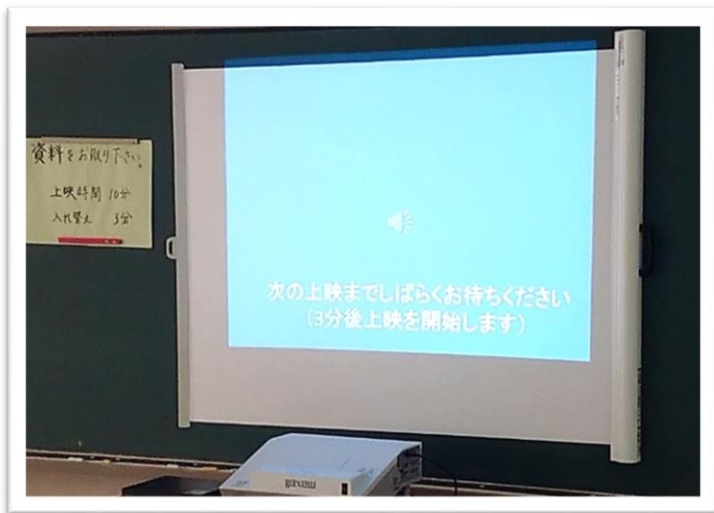
〔3年生柴田さん 2年生鈴木さん〕

新しく顧問となった平塚和也先生は学生時代からソフトテニスをやっていた専門家です。少人数ではありますが、岩高ソフトテニス部は必ずやさらに発展するものと信じています。緊張したと思います。報告に来てくれた二人の勇気に心から感謝しています。頑張れ岩高運動部！次はバスケ部が代替大会です。

7月27日（月）朝早く、ソフトテニス部3年生の柴田柚香さんと2年生鈴木七海さんが校長室に「総体代替大会」の報告に来てくれました。ソフトテニス部の3年生は柴田さん一人で最後の大会を迎えました。今回は2年生の鈴木さんとペアを組んで参加できたので、柴田さんは心から鈴木さんはじめ、後輩達に感謝していました。

試合は予選リーグを見事に突破し、決勝トーナメントでは惜しくも敗れたものの、柴田さんからは最後までやりきった充実感が窺えました。後輩の皆さんは伝統を受け継ぎ日々精進して下さい。

○What a wonderful world「この素晴らしき世界」–3年生保護者向け進路説明会BGM–



連日保護者の皆様にわざわざ学校までお出でいただき誠にありがとうございます。3年生の空き教室では写真のように保護者の皆様用の10分間の動画が定期的に放映されています。入れ替え時間にBGMとして流れているのは米国のジャズシンガー、ルイ・アームストロングの「この素晴らしき世界」です。誰もが聞いたことがある世界的な名曲です。曲自体は1960年代後半ベトナム戦争下で「緑の樹木が見える」「赤バラが咲いている」「青い空に白い雲」「当たり前のようなこの光景がなんと素晴らしい世界なのだろう」と歌われています。

私は大学を卒業して教員採用試験に不合格。東京から南三陸の実家に戻って近くの学校で非常勤講師をしているとき「good morning Vietnam」という映画を見ました。その映画で使われていたのがこの曲でした。正式な職業のない当時の私を励ましてくれました。震災の時もそう、そして今コロナ禍で「普段当たり前だと思っていることが、最も美しくかけがえのないものだ」とアームストロングの囁き声は心に迫ってきます。ではこれで今回のつぶやきはお終いです。